

中国 広西チワン族自治区 招商促進局との業務協力協定調印について

株式会社みずほコーポレート銀行(頭取:齋藤 宏)及びみずほコーポレート銀行(中国)有限公司は12月2日、中華人民共和国広西チワン族自治区招商促進局(以下、広西招商促進局)との間で業務協力協定に調印致しました。広西招商促進局が外資系銀行と業務協力協定を締結するのは今回が初めてとなります。

記

1. 業務協力協定の骨子

本協定は日系企業など海外からの企業進出支援等を主たる目的として、広西チワン族自治区に関する以下のような投資促進活動に際し、双方が協力関係を構築するものです。

- ① 新規および既進出日系企業を対象とした、当行における相談窓口の設置と、同窓口に対する広西招商促進局による投資関連情報等の提供
- ② 広西チワン族自治区内企業の日本進出に際し、当行より日本の投資関連情報を提供
- ③ 投資促進セミナー等の開催を相互支援

2. 業務協力協定の狙い

中国沿海部における投資環境が急速に変化する中、日系企業の間ではアジア全体での生産拠点の最適配置を模索する動きが活発化しています。その中でも広西チワン族自治区は中国政府が強力に後押しする「西部大開発」政策の各種優遇策を享受でき、かつ陸海空でアセアンと接するという地理的優位性が高く評価され、“プラスワン”候補として最も注目を集めている地域の一つです。

当行は本協定のもと、アジアで新たなビジネスの展開・発展を目指す日系企業のお客さまに対し、更にレベルの高いサービスを提供してまいります。

3. 広西チワン族自治区概要(同自治区ウェブサイトより)

中国南部、広東省の西隣に位置する。人口は約 5,000 万人。観光都市・桂林を抱えるなど風光明媚な土地柄で知られる一方、区都・南寧は中国・アセアン博覧会の永久開催地に指定されるなど、昨今は中国ーアセアン貿易のハブとして期待されている。

以 上